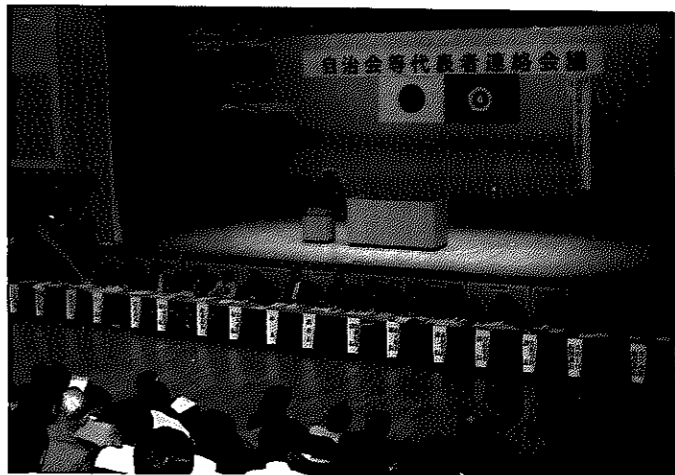


住み良いまちづくりのために市政談議

平成13年度自治会等代表者会議



5月23日、白根学習館のラスベックホールで、自治会等代表者連絡会議が開催されました。これは、各地域を代表し行政運営に協力いただいている自治会等の代表者と、市政について話し合うことを目的に毎年行われているもので、約140人が出席しました。

会議では、本年度の市予算説明書を配布し、吉沢市長が重点施策を説明した後、自治会長らと懇談会を行いました。この懇談会でのご意見やご要望等をご紹介します。

水害対策について

質問 昨年七月の水害の後に、農業用排水路の改善など具体的な方法を挙げて、南新町自治会の「大雨洪水対策要望書」として市に提出しました。また、今年四月、白根健生病院前から国道8号までの道路側溝の劣化状態が非常に激しいので改修するよう、これも文書を提出してあります。しかし、いずれもまだ回答がありません。

答弁(都市建設課長) 大変申し訳ありませんでした。昨年の七・一五水害以降、各地区から水害対策について多くの要望等が出ています。特に床上・床下浸水などの被害がひどかった白根地区の旭町、桜町については、昨年度に引き続き三億一千五百万円の事業費で緊急水害対策を進めているところです。

ほかの水害対策の必要な地区については、国の補助等を受けることができればいいのですが、そのような制度がなく、

市の一般財源単独事業で取り組まなければなりません。随時、それぞれ解消に向けて進めていきたいと考えています。

南新町の国道から東側一帯については、都市下水路の東幹線排水路が主要な幹線排水路になっています。近年の宅地開発により水の出が非常に早く、幹線排水路そのものがなかなか排水できないという事態が生じているわけで、下水道の水害対策が基本的な恒久対策ということになるかと思えます。

また、二点目の側溝老朽化の改修について、これも随時解消していきたいと考えています。

産業厚生会館の夜間駐車場等について

質問 産業厚生会館の裏の東側駐車場に、夜間の駐車台があります。また、同会館三階の屋上のようなところで、酒やジュースを飲んだりしているというのを聞いています。これらについてどう思っているのか。

答弁(商工観光課長) 産業厚生会館の駐車場は、現在、夜間に鎖等を掛けるなどのことはしていません。そういう不法駐車があるということであれば、鎖等を掛けることなどを検討していきたいと思えます。

三階屋上の飲酒等については、先般、現場を見て驚きました。同会館はシルバークリスタールに管理を委託してあります。午後十時までに警備員等がいるので必ず点検して、発見したら注意をし、それで直らなければ警察に連絡するという対策をとっています。また、そういう状況

を発見しましたら通報してください。

旧消防署の外灯の修繕を

質問 旧消防署の外灯がつかないため、付近のバス停留所でバスに乗る時間が分からない、人が歩いていても見えないなどの苦情を聞いています。ぜひとも修繕してほしい。

答弁(総務課長) 旧消防署は、消防車の赤色灯があるだけで、その周りについては防犯灯がありません。

防犯灯については、各地域の皆さまから管理、設置していただいています。しかし、ご指摘の箇所は市の施設であり、停留所も暗いという問題もありますので、地元の能登第三町内会とも話し合いながら、対応策を検討していきたいと思えます。

新町通りの道路改修を

質問 新町通りの道路舗装が古びすぎて、車が通るだけで地震のように家が揺れる。改善できないものか。

答弁(都市建設課長) 新町通りの舗装については、須藤小路線から新湯方向は以前に要望を受け、一部修繕等を行ってきました。しかし、ガス水道管等の各引き込みの後で復旧しましたが、なかなか取まらないという状況です。ガス水道局とも話し合いながら、改善したいと思えます。

住居表示について

質問 今から四・五年くらい前、町名変更が行われていたが、やはり、地域の問題などがあつてなかなか実現しない

というのが実情かと思えます。

もし、小さい町内等でも、その地域の人たちが新たに町内を変更したいという要望を出した場合、それは実現するのでしょうか。

答弁(市民生活課長) 住居表示については、特に市街地には古くからの地番、町内の問題などが入り組んでいて、進まないというのが実態です。

小さい町内でもということですが、できるのであれば四十〜五十戸くらいを単位とした一つの住居表示が望ましいと考えています。

白根で行っている方式は街区方式とい、道路、川、用水などで町内を区切り、新しい町名・地番を付けています。もし、具体的にそういう話があるのであれば、ご相談ください。

堤防が破堤した場合の被害状況は

質問 昭和三十六年に米俵水害がありました。その後、町部において大きな水害はありませんが、もし中ノ口川堤防が破堤した場合、中心部ではどの程度の被害が生じるのでしょうか。

答弁(都市建設課長) 平成十一年に洪水避難地図(洪水ハザードマップ)を各家庭に配布しました。その中では、避難場所や破堤した場合にどれだけの水深になるのかというのが色別に掲載されていて、市街地の部分に限ると四段階に分かれています。

まず、中央通りと都市下水路に囲まれた上流部、水道町付近から諏訪木までの間では、水深は五十センチメートルくら



平成12年7月15日、下越集中豪雨

白南中学校の通学路

質問 白南中学校の通学道路を平成十五年四月の開校までに間に合わせたいとのことですが、現在の計画として、開校までにどの程度整備されようとしているの

か。おそらく担当課長は慎重な意見を出すと思うので、市長はそれについてどう思われるのか。

答弁(学校教育課長) 白南中学校の建設については、本年度と来年度で校舎棟を建設し、平成十四年度に体育館、十五年四月開校を目指して進めています。

現在、歩道関係については都市建設課と路線を検討する中で、学校近くの市道や広域農道等のルートは、国あるいは県の支援を受けて整備を進めていきたいと考えています。

外路灯については、まず学校の前の市道で、広域農道十字路から下茨に向けての道路は、本年度、外路灯設置の予算が措置されましたので、これを進めていきたいと思えます。

来年度以降も、できるだけ早く整備を進め、また、要求も行っていきたく思っています。通学路となる市道のすべてが歩道整備可能という状況ではないので、造られるルートについては都市建設課と詰めながら進めていきたいと考えています。

答弁(都市建設課長) 広域農道の飯島新田から茨宮根鬼新田線までの通学路ですが、この歩道整備は、ふるさと農道緊急整備事業ということで、平成十二年度から県の単独事業で着手し、十四年度に完成します。広域農道の東側に幅員三メートルの歩道を設けて、全長的には一千五百十三メートルの整備をします。

市道については、茨宮根・新飯田方面からの国道西側の通学路ですが、これは今年度舗装する計画で、これに関係する国道の歩道についても、国土交通省が今

年度調査に入る状況です。

新村から庚までの茨道湯庚線は、すでに茨宮根鬼新田線までの間には歩道を設けています。その延長上のもので、用水あるいは道路幅員等の問題があり、用地買収等も伴いますので、それらの具体的な計画を今年度作成したいと考えています。当面は現在の庚の入口の道路までという計画で、順次、整備を促進していきたいと考えています。

答弁(市長) 今ほど副課長が説明しましたように、外灯の設置、歩道の整備については、開校までにはなんとか子どもたちの安全確保ができるよう努めていきたいと考えています。

質問 平成十五年の四月には二百三十人という子どもたちが入学します。やはり大事な子どもたちです。白根の宝です。開校までに完備するという回答はできませんか。

答弁(都市建設課長) 先ほども申し上げましたように、県あるいは国に積極的にお願いしていきます。市で造らなければならぬ歩道についても、財政等を見極めながら計画的に実施していきたいと思えます。開校時までは、学校を中心に近いところから整備を図っていきたくと考えています。

また、庄瀬地区方面から来る通学路につきましても計画的に整備を図っていきたくと考えています。できる限り制度活用を考えていきたく思いますが、国や県も非常に厳しい財政のやりくりをしている中で、制度自体がなかなかないというところで、平成十五年までに完備すると言いきることはできません。